



ひらかわ

市議会だより

平成26年
3月定例会

第34号

平成26年6月15日発行



目次

◆平成26年第1回（3月）定例会（概要） （審議した議案）	2 3～6
◆予算特別委員会（平成26年度予算審査）	7～10
◆議決一覧表	11～12
◆市政に関する一般質問より（5議員）	13～16
◆議員研修視察報告	17
◆議会の動き・編集室から	18

猿賀公園
桜のトンネル

発行：青森県平川市議会 編集：平川市議会広報特別委員会

〒036-0104 青森県平川市柏木町藤山25番地6 TEL(0172)44-1111 FAX(0172)44-6988

平川市ホームページ：<http://www.city.hirakawa.lg.jp/> メールアドレス：gikai@city.hirakawa.lg.jp

第1回(3月)定例会

予算特別委員会設置

平成26年第1回平川市議会定例会は、3月4日から13日までの10日間を会期として開催されました。

本定例会では、平成26年度一般会計などの予算（24件）を審査するために議員全員で構成する予算特別委員会が設置され、委員長に對馬 實議員、副委員長に齋藤政子議員が当選し、あいさつを述べました。

今回提出された議案は、人事案件1件、条例案11件、補正予算案17件、指定管理者の指定及び指定管理者の管理の期間について5件、その他6件、請願2件でした。

これらを慎重に審議した結果、議案第10号、第12号、第22号、第23号、第24号、第29号、第30号、第31号は起立採決の結果原案可決、請願2件は起立採決の結果不採択となりました。その他の議案については全て原案同意、または原案可決となりました。

また、最終日に提出された山田尚人議員の辞職については起立採決の結果、許可となりました。



【会期日程】

- 3月4日(火) 本会議
- 3月5日(水) (議案熟考のため休会)
- 3月6日(木) 常任委員会
- 3月7日(金) 本会議(一般質問1日目)
- 3月8日(土) (休会)
- 3月9日(日) (休会)
- 3月10日(月) 予算特別委員会
- 3月11日(火) 予算特別委員会
- 3月12日(水) 予算特別委員会
- 3月13日(木) 本会議(最終日)



審議した議案

人事案件

●人権擁護委員に

さいとう ちえこ
齋藤 千恵子 氏を同意

人権擁護委員 齋藤千恵子氏の任期が平成26年6月30日をもって満了するので、再任について同意した。

住 所 平川市尾崎
昭和26年生

条例案・条例改正案

●平川市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案

（平成26年4月1日から施行）

職員の管理職手当を定額制に改め、及びその他所要の改正を行うため。

質 疑

問 定額制になると具体的にどう変わるのか。

答 定率制では部長級が給料の5%、課長級が3%だったものが、定額制では部長級が2万5,000円、課長級が1万5,000円と一律となる。

●平川市社会教育委員設置条例の一部を改正する条例案

（平成26年4月1日から施行）

社会教育法の一部改正に伴い、社会教育委員の委嘱の構成を定めるため。

質 疑

問 社会教育委員の現在の人数・任期は。

答 委員の人数は11名であり、任期は2年。現行の委員は平成26年3月31日までである。

●平川市国民健康保険診療施設条例の一部を改正する条例案

（平成26年4月1日から施行）

平川診療所の位置を改め、並びに消費税法及び地方消費税法の改正に伴い手数料を改めるため。

質 疑

問 消費税増税に係る取り扱いは。

答 介護保険に係る主治医意見書などの手数料が消費

税増税の対象となる。

●平川市介護保険条例の一部を改正する条例案

（平成26年3月17日から施行）

介護保険料の延滞金について所要の整備を行うため。

●消費税法及び地方消費税法の改正に伴う関係条例の整備に関する条例案

（平成26年4月1日から施行）

消費税法及び地方消費税法の一部改正に伴い、関係条例について使用料等を改め、及びその他所要の改正を行うため。

反対討論あり

消費税及び地方消費税の税率の引き上げに伴い、24の条例に規定する使用料等の改正は、多くの利用者や市民にとって負担増となるため反対する。

●平川市運動施設条例案

（平成26年4月1日から施行）

平川市平賀総合運動施設条例、平川市おのえスポーツセンター条例、平川市屋内プール条例及び平川市尾上体育館条例において定めていた運動施設の管理及び運営に関する事項を一本化するため。

●平川市指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する条例案

（平成26年4月1日から施行）

介護保険法の一部改正に伴い、指定地域密着型サービス事業者等の指定に関し必要な事項を定めるため。

質 疑

問 条例の概要は。

答 介護保険法の改正により市町村の条例において定めることとなり、平川市指定地域密着型サービス事業者の指定に関する基準等を定める3件の条例を1件に統合する条例である。

●平川市包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例案

（平成26年4月1日から施行）

介護保険法の一部改正に伴い、包括的支援事業の実施に関する基準を定めるため。

●平川市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例案

（平成26年4月1日から施行）

介護保険法の一部改正に伴い、指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定めるため。

質 疑

問 条例の概要は。

答 介護保険法の改正により市町村の条例において定めることとなり、地域支援事業者の運営に関する基準等を定める条例であり、国が定める基準と同様のものである。

●平川市老人福祉センター条例を廃止する条例案

（平成26年4月1日から施行）

平川市老人福祉センターを廃止するため。

質 疑

問 当該施設の建築年数は。

答 昭和57年建設、現在築31年である。

●平川市生きがい活動拠点施設条例の一部を改正する条例案

（平成26年4月1日から施行）

平川市生きがい活動拠点施設を廃止するため。

質 疑

問 当該施設の活用状況は。

答 シルバー人材センター作業車両の置き場所として、また、公園管理の方の休憩所として利用されている。

そ の 他

●平成25年度平川市水道事業会計資本金の額の減少について

地方公営企業法第32条第4項の規定により資本金の額を減少するため。

質 疑

問 提案理由はどうか。

答 法の改正に伴い資本金の減少分を剰余金に振り替

える必要があるためである。

●平成25年度平川市下水道事業会計資本金の額の減少について

地方公営企業法第32条第4項の規定により資本金の額を減少するため。

●平川市過疎地域自立促進計画の変更について

平川市過疎地域自立促進計画を変更するにあたり、過疎地域自立促進特別措置法第6条第7項において準用する同条第1項の規定により議会の議決を経るため。

質 疑

問 過疎と辺地の違いは。

答 過疎地域とは過疎地域自立支援特別措置法の中で定める要件を満たした地域のことで、旧碓ヶ関村地域が該当する。辺地とは交通条件や経済的条件などに恵まれず、他の地域と比較して住民の生活水準が著しく低い山間地、離島等で、久吉地区と東部地区が該当する。

●東部辺地総合整備計画及び久吉辺地総合整備計画の策定について

この2つの計画を新たに策定するにあたり、辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律第3条第1項の規定により議会の議決を必要とするため。

●市道路線の認定について

道路法第8条第2項の規定に基づき、市道の路線を認定するため。

松崎亀井3号線	41.1メートル
起点	松崎亀井1番地11
終点	松崎亀井1番地5
柏木町藤山22号線	119.5メートル
起点	柏木町藤山23番地9
終点	柏木町藤山19番地1

●市有財産の減額貸付けについて

市有の建物をあすなろ理研株式会社に減額貸付けするため。

貸付けする市有財産

旧平川市立小国小・中学校校舎1階

貸付け目的

建物を減額して貸付けることにより、廃校の有効活用及び雇用の促進を図るとともに、弘前大学と企業が共同研究する「そばもやしに付着するパンテア菌を利用した健康食品の研究開発」に市が支援することで、地元での高機能食材開発の確立を目指す

ため。
貸付けの相手方
平川市大坊竹原218番地1
あすなろ理研株式会社
貸付け期間
平成26年4月1日から平成29年3月31日まで
減額する金額
普通財産の貸付料の算定基準により算定された
当該建物の貸付料年額の5分の4に相当する金額

補正予算（平成25年度）

一般会計

予算の総額から歳入歳出それぞれ1億2,428万9,000円を減額し、総額を179億9,684万4,000円とする。

質疑

問 木質バイオマス発電事業貸付金の内容は。

答 ふるさと融資という民間事業者への無利子融資制度を利用し、市の実質的な負担は利子の25%相当分だけであり、金融機関が連帯保証に入る。

問 不動産売払収入と物品売払収入の内容は。

答 不動産売払収入は法定外公共物5カ所と新館の住宅分譲地、物品売払収入は市有バスと分収造林の売却分である。

国民健康保険特別会計

予算の総額から歳入歳出それぞれ7,543万9,000円を減額し、総額を43億317万1,000円とする。

質疑

問 減額補正となった出産一時金の当初計画と実績見込みは。

答 当初は50人で計画したが、実績見込みは34人となり、16人分の減となった。

介護保険特別会計

予算の総額に歳入歳出それぞれ3,686万5,000円を追加し、総額を36億1,649万9,000円とする。

質疑

問 現年度分特別徴収保険料の減額と介護サービス等諸費の状況について。

答 保険料の減額は、実際の算定により被保険者数の減と低所得者数の増が発生したためである。介護サービス諸費は、居宅サービス、ショートステイ、グループホームなどが増加傾向にある。

後期高齢者医療特別会計

予算の総額から歳入歳出それぞれ709万4,000円を減額し、総額を2億5,841万8,000円とする。

国民健康保険診療施設事業診療所特別会計

予算の総額から歳入歳出それぞれ2,744万5,000円を減額し、総額を7億1,947万8,000円とする。

水道事業会計

収益的収入では、営業外収益に津軽広域水道事業団からの応急給水資材補助金として、雑収益を150万円追加。収益的支出では、営業費用のうち水質検査手数料140万円、量水器取替業務委託料100万円を減額。資本的支出の建設改良費のうち、量水器購入費1,237万7,000円、備品購入費12万1,000円、車輛購入費4万円減額する。

質疑

問 異臭味物質の発生状況は。

答 水質検査を行っており、基準値内であるが経過を注視している。

下水道事業会計

収益的収入では、公共下水道事業収益150万円、特定環境保全公共下水道事業収益1,500万円、農業集落排水事業収益4,000万円を追加。資本的収支の収入では、公共下水道事業に要する企業債1,100万追加。特定環境保全公共下水道事業資本的収入1,500万円、農業集落排水事業資本的収入4,000万円を減額。支出では、公共下水道事業資本的支出のうち、建設負担金150万円減額、企業債償還金1,260万円追加する。

質疑

問 下水道加入状況は。

答 全事業合わせて77.6%の加入状況である。

財産区一般会計

広船、荒田、大坊、柏木町、大字大光寺、平田森、新館、原田、岩館、碓ヶ関

質疑

問 分収造林とはどのような事業なのか。

答 下刈りや間伐といった整備事業のことである。

指定管理者の指定及び 指定管理者の管理の期間

※ 質疑のあったものを抜粋

平川市公の施設の指定管理者の指定等に関する条例第3条及び第4条の規定に基づき、指定管理者の指定及び指定管理者の管理の期間について議会の議決を求めるため。

●平川市運動施設平賀グラウンド

質 疑

問 指定管理の期間が昨年定められた5年間ではなく、4年間となっている理由は。

答 平成25年度より指定管理されている当該施設の名称が議案第13号平川市運動施設条例により変更となるため、平成26年度からの残り4年間について改めて指定することとなった。

指定管理者の指定及び指定管理者の管理の期間一覧表

施設名称	指定管理者	期間
平川市運動施設平賀グラウンド	特定非営利活動法人 平川市体育協会	平成26年4月1日 ～平成30年3月31日
平川市運動施設平賀屋内温水プール		平成26年4月1日 ～平成30年3月31日
平川市運動施設平賀体育館		平成26年4月1日 ～平成30年3月31日
平川市運動施設B&G尾上体育館、 尾上武道館、尾上野球場、尾上テ ニスコート及び尾上体育館		平成26年4月1日 ～平成27年3月31日
平川市運動施設碓ヶ関屋内温水 プール（ゆうえい館）		平成26年4月1日 ～平成28年3月31日

議会を傍聴してみませんか？

①議会を傍聴してみたい！

・平川市ホームページ、または議会事務局にて開催日程をご確認ください。

②どこに行けばいいの？

・平川市役所本庁舎5階にあります。

③傍聴の手続きはどうすればいいの？

・本会議当日、本庁舎5階議会事務局においでください。

（会議は10時からです）

・受付簿に住所、氏名、年齢を記入してから傍聴席にお入りください。

（一般傍聴席は34席です。先着順となります。）



定例会は3月、6月、9月、12月に行われます

詳しくは議会事務局まで 電話（0172）44-1111（内線1511）

予算特別委員会

平成26年度一般会計予算

総額165億6千万円

(前年度比2.2%減)

予算特別委員会は、3月10日・11日・12日の3日間、平成26年度予算案について、審議しました。

議員全員を委員とし、委員長に對馬 實委員、副委員長に齋藤政子委員が選任されました。各委員から活発な質疑が行われた結果、一般会計と国民健康保険・介護保険は賛成多数で、その他会計予算案は全会一致で可決されました。

(※質疑のあったものを内容を要約し、抜粋して掲載しています。)



一般会計

歳入全般

問 地方消費税交付金が昨年度より5,000万ほど増えているのは、どこの積算なのか。

答 市の独自というよりも、地方財政計画の伸びを参考に、25年度の見込みも勘案して計上した額である。

問 公民館、文化センター、生涯学習センター、総合運動施設、これらの使用料の消費税増税分の影響額は。

答 公民館18,000円、文化センター152,000円、生涯学習センター13,000円、総合運動施設130,000円となっている。

歳出全般

総務費

問 バス管理運転委託料の詳細は。

答 総額は625万8,000円。中央タイヤに委託しており、1時間1,500円で3台。実績は2400時間で360万。車両管理が253万8,000円となっている。

民生費

問 ほのぼのコミュニティ21の現状は。

答 高齢者の見守り人員は大体630名程度で人数的には変更はない。地域間で若干ばらつきもあるが、民生委員と協力し体制に当たっている。

衛生費

- 問** 全体的に扶助費が増えているが、削減する案はあるか。
- 答** 介護予防、心身ともに健康な地域をつくる対応として、長い年数をかけて学校教育や食育等に取り組まなければならないと感じている。

農林水産業費

- 問** 紅の夢における委託の規模及び防風網張り替えの助成率は。
- 答** 試験園があり、規模は大体2反歩ほど。防風網補助率は3分の1で、780メートル分をみている。

商工費

- 問** 冬のねぶたの予算について。
- 答** 行う時期、コース等を6月の肉付け予算まで改めたいため、今回は骨格予算には計上していない。

土木費

- 問** 橋の調査における計画の詳細は。
- 答** 調査対象の57橋のうち51橋について補修が必要と判断し、26年度から10年間にわたって補修していく予定である。

消防費

- 問** 消防団における現在の人数及び報酬の見直しについて。
- 答** 760人の定数のうち、現在702人。消防団の報酬についての見直しは未定である。

教育費

- 問** 幼稚園の就園奨励補助金の概要と平川市の状況は。
- 答** 現在、就園奨励費予算では42名をみている。平川市内の幼稚園のみならず、市民がほかの幼稚園に通っている場合も対象となる。また、保育料は第2子以降の30人分をみて370万1,000円とした。

反対討論あり

消費税の増税により、市民負担増が含まれていること、検診委託料が受診者減少の実績による予算計上となっていることなどにより、反対する。

賛成討論あり

前年度に次ぐ予算規模の骨格予算であるが、年度当初から執行が必要な事業や市民福祉対策、経済対策としてスピード感をもって行う事業は当初予算に計上されており、市民サービスを停滞させないよう配慮された予算であることなどから賛成する。

特別会計

国民健康保険特別会計

- 問** 滞納、資格証明書、短期被保険者証の実態について。
- 答** 滞納の額は本年2月末現在で3億3,050万7,767円。世帯数は1,037世帯。短期保険者証の世帯数は363世帯、資格証明が19世帯。短期証明は昨年度と比べて21世帯の減。資格証明は27世帯減となっている。

反対討論あり

今回の予算には課税限度額の見直しが入っており、後期高齢者支援金分、介護納付金分が引き上げとなり、医療給付費分を合わせると合計が77万円から81万円になることにより、重税感を訴える声がやまないことから反対する。

賛成討論あり

国保被保険者の保険税負担増加を抑えるため税率を据え置きし、財源不足分に財政調整基金を充て保険税負担の公平をはかるための課税限度額の引き上げなど、安心して医療が受けられるよう、医療費総額の確保を最優先させたものであることから賛成する。

介護保険特別会計

反対討論あり

第1号被保険者は年金が下がるなか、高い介護保険料徴収に苦しみ、必要とするサービスを受けられないなど保険料あって介護なしの実態となっていることから反対する。

賛成討論あり

平成27年度に改正・施行される介護保険法を見据え、地域包括支援センターに専門職を配置するなど、介護予防に取り組んでいく積極的な施策を盛り込んだ予算となっていることから賛成する。

後期高齢者医療特別会計

問 青森県の保険料増額について、どういう議論になっているか。

答 試算した段階では少し厳しいため上げざるを得ないという話が出ているが、最終的には据え置きということで決定した。

国民健康保険診療施設事業診療所特別会計

問 平川診療所診療報酬が前年度に比べてあまりに少ないが、それはなぜか。

答 現在、院内で薬をわたしその分まで診療報酬として入ってきている。今後移転し院外処方になった場合、この薬の分は診療報酬には含まれなくなるため、このような差になっている。

学校給食センター特別会計

問 給食費における消費税増税分は一般財源から投入するとの話だが、来年の10月にまた上がった場合、その段階でも同様にするのか。

答 消費税が10%に上がった場合は、今後の状況等を勘案しながら検討したい。

簡易水道特別会計

問 使用料の戸数と加入率は。

答 全体の加入率は100%、180世帯。葛川の簡易水道57世帯、小国が94世帯、大木平が13世帯、平六が16世帯となっている。

問 繰入金が2,600万円ほど下がっているわけは。

答 昨年、公債費を一部一括償還したため。

水道事業会計

問 異臭味問題で、ダム湖に流入している河川があるが、その上流にある平川市、黒石市の環境はどのようなのか。

答 原因には河川周辺施設や家庭雑排水、温泉、農業関係の排水等が考えられるが、基本的には監視を続けており、また事業者にも水質管理をお願いしている。現在、流入している河川についての問題はない。

下水道事業会計

問 汚泥処分処理をしたものを肥料等にしてイベントなどで配っているが、その状況はどうなっているか。

答 値段の問題もあるが、下水道の啓発としてさまざまな方法で活用したい。伸びについてはほぼ例年通りの予算の中で対応している。

財産区

問 小和森、大坊、柏木、大光寺、平田森、岩館の各財産区の委託先はどこか。

答 これはあくまでも26年度の予算であり、これから委託先を決めていくところである。

平成26年度 一般会計当初予算

【歳入】

(単位：千円、%)

	本年度予算額	構成比	前年度予算額	増減額	増減率
市 税	2,304,602	13.9	2,212,729	91,873	4.2
地方譲与税	231,000	1.4	226,000	5,000	2.2
利子割交付金	4,000	0.0	4,500	△ 500	△ 11.1
配当割交付金	1,800	0.0	1,800	0	0.0
株式等譲渡所得割交付金	300	0.0	200	100	50.0
地方消費税交付金	320,000	1.9	270,000	50,000	18.5
ゴルフ場利用税交付金	11,000	0.1	13,000	△ 2,000	△ 15.4
自動車取得税交付金	50,000	0.3	43,000	7,000	16.3
地方特例交付金	10,000	0.1	11,000	△ 1,000	△ 9.1
地方交付税	7,820,000	47.2	7,870,000	△ 50,000	△ 0.6
交通安全対策特別交付金	4,600	0.0	4,800	△ 200	△ 4.2
分担金及び負担金	110,778	0.7	184,886	△ 74,108	△ 40.1
使用料及び手数料	107,323	0.5	109,852	△ 2,529	△ 2.3
国庫支出金	2,394,136	14.5	2,086,180	307,956	14.8
県支出金	1,286,837	7.8	1,140,834	146,003	12.8
財産収入	34,916	0.2	31,417	3,499	11.1
寄附金	2	0.0	2	0	0.0
繰入金	379,384	2.3	810,538	△ 431,154	△ 53.2
繰越金	1	0.0	1	0	0.0
諸収入	432,021	2.7	497,861	△ 65,840	△ 13.2
市債	1,057,300	6.4	1,411,400	△ 354,100	△ 25.1
歳入合計	16,560,000	100.0	16,930,000	△ 370,000	△ 2.2

【歳出】

(単位：千円、%)

	本年度予算額	構成比	前年度予算額	増減額	増減率
議会費	170,884	1.0	171,230	△ 346	△ 0.2
総務費	1,824,472	11.0	1,733,408	91,064	5.3
民生費	5,491,523	33.2	5,227,399	264,124	5.1
衛生費	1,046,762	6.3	1,188,259	△ 141,497	△ 11.9
労働費	152	0.0	36,222	△ 36,070	△ 99.6
農林水産業費	727,161	4.4	841,664	△ 114,503	△ 13.6
商工費	444,380	2.7	454,500	△ 10,120	△ 2.2
土木費	1,740,890	10.5	1,733,164	7,726	0.4
消防費	978,491	5.9	1,082,608	△ 104,117	△ 9.6
教育費	1,356,137	8.2	1,659,054	△ 302,917	△ 18.3
災害復旧費	68,796	0.4	39,018	29,778	76.3
公債費	2,650,352	16.0	2,703,474	△ 53,122	△ 2.0
予備費	60,000	0.4	60,000	0	0.0
歳出合計	16,560,000	100.0	16,930,000	△ 370,000	△ 2.2

※構成比は、四捨五入のため積算が一致しない場合がある。

平成26年度 各種会計当初予算

(単位：千円、%)

会計名		予算額	増減額	増減率	
特別会計	国民健康保険	4,244,084	99,888	2.4%	
	介護保険	3,617,225	143,955	4.1%	
	後期高齢者医療	267,983	10,865	4.2%	
	診療所	324,954	△ 421,089	△ 56.4%	
	学校給食センター	340,536	△ 3,407	△ 1.0%	
	尾上地区住宅団地温泉事業	10,859	△ 817	△ 7.0%	
	簡易水道	18,082	△ 26,586	△ 59.5%	
企業会計	水道事業	事業収益	548,034	23,188	4.4%
		事業費用	476,226	29,595	6.6%
		資本的収入	22,010	△ 2,532	△ 10.3%
		資本的支出	177,206	△ 33,375	△ 15.8%
	下水道事業	事業収益	764,993	2,949	0.4%
		事業費用	1,237,275	339,876	37.9%
		資本的収入	476,436	14,698	3.2%
	資本的支出	711,702	△ 7,320	1.0%	

(増減は対前年度当初予算比です。)

平成26年
(3月議会)

第1回 定例会議決一覧表

議案番号	議案名	本会議		常任委員会		
		結果	備考	付託先	結果	備考
【条例案・条例改正案】						
8	平川市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決		総務企画	原案可決	
9	平川市社会教育委員設置条例の一部を改正する条例案	原案可決		教育民生	原案可決	
10	平川市国民健康保険診療施設条例の一部を改正する条例案	原案可決	起立採決	教育民生	原案可決	
11	平川市介護保険条例の一部を改正する条例案	原案可決		教育民生	原案可決	
12	消費税法及び地方消費税法の改正に伴う関係条例の整備に関する条例案	原案可決	起立採決	総務企画	原案可決	
13	平川市運動施設条例案	原案可決		教育民生	原案可決	
14	平川市指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する条例案	原案可決		教育民生	原案可決	
15	平川市包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例案	原案可決		教育民生	原案可決	
16	平川市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例案	原案可決		教育民生	原案可決	
69	平川市老人福祉センター条例を廃止する条例案	原案可決		教育民生	原案可決	
70	平川市生きがい活動拠点施設条例の一部を改正する条例案	原案可決		教育民生	原案可決	
【その他】						
7	人権擁護委員候補者の推薦について	原案同意				
17	平川市運動施設平賀グラウンドの指定管理者の指定及び指定管理者の管理の期間について	原案可決		教育民生	原案可決	
18	平川市運動施設平賀屋内温水プールの指定管理者の指定及び指定管理者の管理の期間について	原案可決		教育民生	原案可決	
19	平川市運動施設平賀体育館の指定管理者の指定及び指定管理者の管理の期間について	原案可決		教育民生	原案可決	
20	平川市運動施設B&G尾上体育館、尾上武道館、尾上野球場、尾上テニスコート及び尾上体育館の指定管理者の指定及び指定管理者の管理の期間について	原案可決		教育民生	原案可決	
21	平川市運動施設碓ヶ関屋内温水プール（ゆうえい館）の指定管理者の指定及び指定管理者の管理の期間について	原案可決		教育民生	原案可決	
63	平成25年度平川市水道事業会計資本金の額の減少について	原案可決		建設経済	原案可決	
64	平成25年度平川市下水道事業会計資本金の額の減少について	原案可決		建設経済	原案可決	
65	平川市過疎地域自立促進計画の変更について	原案可決		総務企画	原案可決	
66	東部辺地総合整備計画及び久吉辺地総合整備計画の策定について	原案可決		総務企画	原案可決	
67	市道路線の認定について	原案可決		建設経済	原案可決	
68	市有財産の減額貸付けについて	原案可決		総務企画	原案可決	
【予算案】						
22	平成26年度平川市一般会計予算案	原案可決	起立多数	予算特別	原案可決	起立採決
23	平成26年度平川市国民健康保険特別会計予算案	原案可決	起立多数	予算特別	原案可決	起立採決
24	平成26年度平川市介護保険特別会計予算案	原案可決	起立多数	予算特別	原案可決	起立採決
25	平成26年度平川市後期高齢者医療特別会計予算案	原案可決		予算特別	原案可決	起立採決

議案 番号	議 案 名	本 会 議		常 任 委 員 会		
		結 果	備 考	付託先	結 果	備 考
26	平成26年度平川市国民健康保険診療施設事業診療所特別会計予算案	原案可決		予算特別	原案可決	
27	平成26年度平川市学校給食センター特別会計予算案	原案可決		予算特別	原案可決	
28	平成26年度平川市尾上地区住宅団地温泉事業特別会計予算案	原案可決		予算特別	原案可決	
29	平成26年度平川市簡易水道特別会計予算案	原案可決	起立採決	予算特別	原案可決	起立採決
30	平成26年度平川市水道事業会計予算案	原案可決	起立採決	予算特別	原案可決	起立採決
31	平成26年度平川市下水道事業会計予算案	原案可決	起立採決	予算特別	原案可決	起立採決
32	平成26年度平川市広船財産区一般会計予算案	原案可決		予算特別	原案可決	
33	平成26年度平川市小和森財産区一般会計予算案	原案可決		予算特別	原案可決	
34	平成26年度平川市大坊財産区一般会計予算案	原案可決		予算特別	原案可決	
35	平成26年度平川市石郷財産区一般会計予算案	原案可決		予算特別	原案可決	
36	平成26年度平川市柏木町財産区一般会計予算案	原案可決		予算特別	原案可決	
37	平成26年度平川市大字大光寺財産区一般会計予算案	原案可決		予算特別	原案可決	
38	平成26年度平川市平田森財産区一般会計予算案	原案可決		予算特別	原案可決	
39	平成26年度平川市新館財産区一般会計予算案	原案可決		予算特別	原案可決	
40	平成26年度平川市沖館財産区一般会計予算案	原案可決		予算特別	原案可決	
41	平成26年度平川市葛川財産区一般会計予算案	原案可決		予算特別	原案可決	
42	平成26年度平川市吹上・高畑財産区一般会計予算案	原案可決		予算特別	原案可決	
43	平成26年度平川市原田財産区一般会計予算案	原案可決		予算特別	原案可決	
44	平成26年度平川市岩館財産区一般会計予算案	原案可決		予算特別	原案可決	
45	平成26年度平川市碓ヶ関財産区一般会計予算案	原案可決		予算特別	原案可決	
【補正予算案】						
46	平成25年度平川市一般会計補正予算案(第7号)	原案可決		総務企画	原案可決	
47	平成25年度平川市国民健康保険特別会計補正予算案(第3号)	原案可決		教育民生	原案可決	
48	平成25年度平川市介護保険特別会計補正予算案(第3号)	原案可決		教育民生	原案可決	
49	平成25年度平川市後期高齢者医療特別会計補正予算案(第2号)	原案可決		教育民生	原案可決	
50	平成25年度平川市国民健康保険診療施設事業診療所特別会計補正予算案(第3号)	原案可決		教育民生	原案可決	
51	平成25年度平川市水道事業会計補正予算案(第2号)	原案可決		建設経済	原案可決	
52	平成25年度平川市下水道事業会計補正予算案(第4号)	原案可決		建設経済	原案可決	
53	平成25年度平川市広船財産区一般会計補正予算案(第2号)	原案可決		総務企画	原案可決	
54	平成25年度平川市荒田財産区一般会計補正予算案(第1号)	原案可決		総務企画	原案可決	
55	平成25年度平川市大坊財産区一般会計補正予算案(第1号)	原案可決		総務企画	原案可決	
56	平成25年度平川市柏木町財産区一般会計補正予算案(第1号)	原案可決		総務企画	原案可決	
57	平成25年度平川市大字大光寺財産区一般会計補正予算案(第2号)	原案可決		総務企画	原案可決	
58	平成25年度平川市平田森財産区一般会計補正予算案(第2号)	原案可決		総務企画	原案可決	
59	平成25年度平川市新館財産区一般会計補正予算案(第1号)	原案可決		総務企画	原案可決	
60	平成25年度平川市原田財産区一般会計補正予算案(第2号)	原案可決		総務企画	原案可決	
61	平成25年度平川市岩館財産区一般会計補正予算案(第1号)	原案可決		総務企画	原案可決	
62	平成25年度平川市碓ヶ関財産区一般会計補正予算案(第1号)	原案可決		総務企画	原案可決	
【請願】						
1	特定秘密保護法の撤廃を求める意見書採択の請願	不採択	起立採決	総務企画	不採択	挙手採決
2	国へ「TPP交渉からの撤退を求める意見書」提出の請願	不採択	起立採決	建設経済	不採択	挙手採決

市政に関する一般質問より

一般質問は、議員が行政全般にわたり、執行機関に対して事務の執行状況及び将来に対する方針等について質問します。ここでは内容を要約して掲載しております。



平成26年 第1回(3月)定例会 一般質問傍聴席

※ 3月定例会では33名の方が傍聴されました

1. 古川 敏夫 議員 (一括質問方式)

1. 福祉行政について
2. 地域活性化事業について

4. 福土恵美子 議員 (一括質問方式)

1. 職員再任用制度の運用について
2. 指定管理者制度について

2. 工藤 竹雄 議員 (一括質問方式)

1. 市長の公約について

5. 齋藤 律子 議員 (一問一答方式)

1. 2014年実施の市長選挙について
2. 長尾市長の公約について
3. 全国学力テストについて
4. 尾上地区中佐渡の廃止になったごみの旧処分場について

3. 今 俊一 議員 (一括質問方式)

1. 市長の選挙公約について
2. 広域医療体制について



古川 敏夫 議員

1. 福祉行政の取り組みについて

問 少子高齢化時代が進む中、どのような方針で福祉行政を進めていくのか。

答 少子化対策として第2子以降の保育料無料化を新年度より実施するとともに、子育て支援課を単独で設置し、市の実情に合った施策を集中的に検討し、子育てがしたいと思えるような地域づくりを目指したい。

また、高齢者福祉では健康づくりに関する施策を展開し、健康で自立した生活を送ることができる期間である健康寿命の延伸に努めたい。

子ども、高齢者、障害者を含むすべての市民が地域社会で安心して暮らせるまちづくりのために努力していきたい。

2. 平川市婚活応援事業(カップリングパーティ)継続について



問 過去4回実施したパーティでは結婚し、子どもが誕生している実績もある。少子高齢化対策・経済の活性化がはかられるものであるので事業助成の継続を。

答 青森県で子育て最適の地にしたいと考えている。カップルができて第1子ができなければ保育料無料化の第2子の恩恵は受けられないので、カップルができる事業として有効であると考え、継続して支援をしていきたい。



工藤 竹雄 議員

1. 地域間格差感の是正について

問 合併して8年が過ぎ、市発行の広報等で市民はそれぞれの地域での市の事業実施内容を知る機会も多いが、「地域間格差を感じている市民が非常に多い、合併後の市が一つになっているとはいえない。」という市長の主張は疑問である。

答 合併後、中心部である平賀地域を中心にあらゆる物事が進んでいるのではないかという感覚をもっている市民が他地域に多いように感じており、そのことに関して格差感があると申し上げてきた。積極的に地域に足を運びながら地域の声を吸い上げ、いまできること、待ってもらうこと、できないことを明確に市民のみなさんに提示しながら、これからの市政の運営に努めたい。

2. ひらかドーム暖房装置整備について

問 暖房とする目的と装置設置等の施工、工事実施方法の考えを示せ。

答 冬場は抽選になるほど使用頻度の高いひらかドームであるが、冬期間は非常に寒くプレーする選手、観戦する方より暖をとる装置の要望の声があった。専門家の意見も参考に設置費用、維持管理費、問題点等を総合的に判断して検討したい。



ひらかドーム内部



今 俊一 議員

1. 保育料の無料化について

問 第2子以降の保育料無料化について背景及び経緯を示せ。

答 子育て支援というのは、地域にとっての未来に対する投資である
と考える。平川市の合計出生率が1.28人と全国平均よりかなり低い
数字であることから、子育て環境を整備することにより2人目を産
む気持ちになってもらいたい。

2. 子育て支援課について

問 新しく設置される子育て支援課の具体的な中身について。

答 子育て支援単独部署は4月当初からの設置を指示している。担当
業務はこども家庭係従来の業務に加えて、健康推進課母子保健係、
教育委員会などからの移管業務、児童相談員による相談支援、市民
の声を反映させた子育て支援会議などの事業を検討していきたい。

3. 自治体病院の再編問題に対する考えについて



問 弘前圏域定住自立圏の中での広域医療体制について、どのように
協議、再編されて行く予定か。また、平川市の今後の対応は。

答 平川市には自治体病院がないなどの理由により再編協議への参加
を見送ってきたが、当市の医療は他の自治体病院に大きく依存して
いる状況にあり、津軽圏域や当市の地域医療を守り、安全安心なま
ちづくりを推進するために、広域連携による自治体病院機能再編協
議に参加をする考えである。



福土恵美子 議員

1. 職員再任用制度の運用について

問 この制度を運用することで先輩から若い職員へ仕事のアドバイス
等ができると思われる。我が平川市も活用すべきと思うが、市長の
考えは。

答 当市でも本年度から導入を検討し、制度の策定は終わっている。
今後は制度内容を職員へ周知するとともに、退職した職員が長年
培った経験を有効に活かせるよう環境づくりに努めていきたい。

2. 指定管理者制度について

問 ①制度導入後、現在までに指定管理者を終了した施設はあるのか。
②制度導入による財政的な効果は。
③生涯学習の拠点である施設は民間委託になじまないのではない
かと思うため、市直営でしっかり運営すべき。平川市文化センター
の指定管理者制度導入について市長の考えは。

答 ①施設の廃止によるものが2件、指定管理者の活動休止により指
定管理を更新しなかったものが1件となっている。
②平成23年度から平成27年度までの5カ年で約8,600万円、う
ち人件費分で7,800万円が見込まれている。
③近年、社会教育施設を指定管理へ移行し、市と連携、一体で事
業を展開し、さまざまな効果を上げている例もある。平川市の発
展を考えた場合、社会教育は非常に重要だと常々感じている。施
設の指定管理については、本当にこれになじむのかどうか慎重に
検討していきたい。



文化センター



齋藤 律子 議員

1. 市長選挙について

問 公職選挙法違反の疑いによる逮捕事件について、再発防止策は。

答 選挙違反の防止に関しては責務もあるため周知に努めたい。周知の方法、内容等について検討し、平川市明るい選挙推進協議会の協力も得ながら対応したい。

2. 長尾市長公約の女性が元気にについて

問 女性が変われば地域が変わるについてと地域づくりについて。

答 現在の多様な生活様式に多様な視点が必要であるため、さまざまな分野で活躍・参画する女性が増えるような方策を検討していきたい。そのために、審議会委員への女性の参画や女性職員の積極的な登用、企業や各種団体等における女性参画の推進、要請をしていきたい。

3. 全国学力テストの学校別結果の公表について

問 学校別結果の公表に対する平川市教育委員会の見解を問う。

答 市内各小中学校の序列化や過度な競争が生じることへの懸念から、これまでと同様に学校名を公表しないこととする。

4. 尾上地区中佐渡の廃止になったごみの旧処分場について

問 ①安全性について

②貸付け要件について

答 ①処分場廃止において定期的に水質検査等を実施し、すべての検査項目で基準値をクリアしたのち廃止となった。

②津軽バイオチップ株式会社と土地賃貸借契約を締結した。用途はチップ製造用木材貯木場の敷地の用、金額は平成25年度分が13,000円、26年度以降は25,900円。期間は平成25年10月1日から平成29年3月31日まで。



請願書・陳情書の出し方

請願書・陳情書の書き方、留意事項は次のとおりです。

- ① 請願書（陳情書）はその要旨、理由を簡単に、分かりやすく書いてください。
- ② 提出年月日、請願（陳情）者の住所、氏名（法人の場合は、その名称及び代表者氏名）を書いて必ず押印してください。
- ③ 請願の場合は、一人以上の紹介議員が必要になります。紹介する議員は、署名または記名押印をしてください。
- ④ 紹介議員が付かないときは陳情書としてください。
- ⑤ 道路等は簡単な地図・略図・図面等をつけてください。

【記入例】

平成 年 月 日

平川市議会議長（氏名） 殿

請願（陳情）者 住 所
氏 名 印

紹介議員 氏 名 印

〇〇〇に関する請願（陳情）書

【請願（陳情）の要旨】
【理 由】

議員研修視察報告

●研修視察期間

平成26年2月12日（水）～2月14日（金）まで

●研修目的と視察先

1. 地域SNSの活用について（八戸市：八戸市役所）
2. 学校給食について（東京都千代田区：株式会社ニッコトラスト、
江戸川区：ライオン株式会社研究開発本部社員食堂、千代田区：財務省食堂）

●参加議員

佐々木利正議員

●所感 その1

八戸市では、地域SNSを利用して、災害や犯罪に強い安全な地域作りを目的とした八戸市安全・安心情報発信事業を周辺町村と広域連携で行っています。

パソコンや携帯電話を活用し自治体と関係機関、地域住民が防災、防犯などの情報を共有したり、地域の情報を双方向で発信したりすることで安全・安心の確立に加え、地域コミュニティの再生につながるよう必要な情報を八戸市庁舎に設置したサーバーから登録者の端末に送信されます。情報は、市防災安全部防災危機管理課で一括管理されますが、気象、火災情報については関係機関から直接登録者に配信されます。他の情報、防犯や交通安全、消費生活、感染症、ライフライン、猿や熊などの情報は担当課より危機管理課が取りまとめ配信します。

今回の事例では、個人の端末に必要な情報が届き、確認もでき、また現場の情報も自治体側が正確にとらえることができるであろうと思います。国のJアラート情報なども直接個人に配信されることも可能ではないかとも思いました。こちらの定住自立圏城市町村などでも少し考えてもよいのではと思います。



八戸市役所で説明を受ける

●所感 その2

給食のアレルギー対策の先進事例として、株式会社ニッコトラストを視察しました。

同社は、社員食堂の運営や学校給食の調理提供を行っています。現場で重要なことは、アレルギー物質が混ざらないようにすることで、給食センターは別棟をその専門調理場としているとのことでした。

次に、契約施設であるライオンと財務省の食堂を視察しました。アレルギー対策のため、専用の調理場があり、冷蔵庫など保管庫、調理器具、ユニホームも専用のものがありました。食堂では、使用材料についてメニューに分かりやすく表記し、本人に判断をゆだねておりました。

給食センターでは、研修会実施とともに、アレルギーを持つ児童・生徒、アレルギーを完璧に把握し、学年・クラス・氏名を厳格に管理し、保護者との調整をしながら調理提供を行っているとのことでした。

子供の健全な育成と、家庭の負担軽減などを視野に当市にも食物アレルギー対応の施設を設けるべきとの声が大きくなるのではないかと感じます。その際には、私が今回研修で学んだことを活かせればと考えます。



メニュー（アレルギー表示）

* 議会の動き *

平成 26 年

- | | |
|---|--|
| <p>3月 1日 平成 25 年度青森県立尾上総合高等学校卒業証書授与式に議長出席
 // 日 平成 25 年度青森県立柏木農業高等学校卒業証書授与式に議長出席
 2日 第 8 回平川市連合婦人会体育まつりに議長ほか出席
 15日 県教育委員会表彰者を囲む会に議長出席
 16日 緑青園 1・2・3 月期誕生会及びボランティア感謝と交流の集いに議長ほか出席
 23日 平川市消防団出初式に議長ほか出席
 4月 1日 新平川診療所開所式に議長ほか出席
 3日 平成 26 年度青森県南黒地区消防協会通常総会に議長ほか出席
 6日 平成 25 年度平川市連合婦人会総会に議長ほか出席
 12日 第 8 回平川市交通安全母の会総会に議長出席
 // 日 平成 25 年度世界一の扇ねびた運行実行委員会通常総会懇親会に議長出席
 17日 第 66 回東北市議会議長会定期総会に議長、副議長、事務局長出席（弘前市）
 18日 平川市観光協会総会に議長出席
 19日 第 9 回平川市文化協会通常総会に議長出席
 20日 弘前駐屯地創立記念式典に議長出席（弘前市）
 22日 平川市身体障害者福祉会通常総会に議長出席
 23日 青森県市議会議長会第 1 回事務局長会議に事務局長出席（青森市）
 24日 平成 25 年度平川市老人クラブ連合会総会に副議長出席
 25日 平川市納税貯蓄組合連合会総会に副議長出席
 26日 第 33 回おのえ花と植木まつり開会式に議長ほか出席
 // 日 第 17 回広船志賀坊まつり 2014 開会式に議長ほか出席
 // 日 第 9 回平川市読書推進運動協議会総会に議長出席
 27日 平成 26 年度青森県南黒地区消防協会観閲式に議長ほか出席
 29日 平川市遺族会総会に議長出席
 30日 平成 26 年度青少年育成平川市民会議総会に議長出席
 5月 5日 平川市子どもフェスティバルに副議長出席
 // 日 第 8 回平川市子ども会育成協議会総会に副議長出席
 9日 議会広報特別委員会
 10日 平成 26 年度平川市連合 P T A 定期総会に議長出席
 11日 平川市防衛協会総会に議長出席</p> | <p>14日 平成 26 年度南黒食品衛生協会定時総会に議長出席（田舎館村）
 15日 平成 26 年度青森県市議会議長会第 1 回定期総会に議長、事務局長出席（むつ市）
 16日 平川市交通安全協会定時総会に議長出席
 20日 平成 26 年度平川市商工会通常総会懇親会に議長出席
 21日 平成 25 年度黒石地区交通安全協会通常総会に議長出席（黒石市）
 // 日 平成 25 年度平川市演劇集団夢ぶたい総会に副議長出席
 22日 日本水道協会青森県支部第 59 回総会に議長出席
 24日 平成 25 年度 N P O 法人平川市体育協会通常総会に議長出席
 26日 全員協議会
 27日 有限会社おのえ企画定時総会懇親会に副議長出席
 29日 議会広報特別委員会
 30日 平成 26 年度公益社団法人平川市シルバー人材センター定時総会に議長出席
 // 日 平成 26 年度国道 7 号整備促進期成同盟会通常総会及び平成 26 年度津軽地域河川・道路整備意見交換会に議長出席（弘前市）</p> |
|---|--|



◆◆ 編集室 から ◆◆

今年もまた、五月がやってきた。
 五月の最後の土、日曜日は、毎年白岩まつりがやってくる。
 しかし昭和六十三年から二十六年間続いた白岩まつりが中止となった。
 初年度からテント二張りに、おでん、焼鳥、焼そば、おやきや、竹の子などの山菜を販売した。
 のれん、エプロンも手作りで、二十数人の仲間が同じ場

所で二十六年間写真を撮った。それを並べて見ますと長い年月を感じます。
 二年間で、例えばおでん三百人分、フランクフルト六百本等。七品目と山菜、ジュース類の販売です。
 忙しくて楽しい二年間。
 それが急に欠くなり何をしようか、とまどう今日この頃です。

（齋藤 政子）